

令和2年11月10日(火)
国土交通省関東地方整備局
企画部
関東技術事務所

記者発表資料

建設技術展示館リニューアルオープン 令和2年12月2日(水)から開館

関東地方整備局では、新技術の効率的・効果的かつ適切な活用の推進と整備局の事業紹介等を目的に関東技術事務所構内に平成11年度から「建設技術展示館」を常設で開設しています。

この度、第15期の展示技術として「Society5.0を実現する新技術」、「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」を主眼においた新技術の展示を行います。

リニューアルオープン式典を令和2年12月2日(水)10:00より建設技術展示館で開催します。(詳細はチラシをご覧ください。)

オープンイベントでは、「特別講演」「展示者による展示説明」を行いますのでぜひご来館下さい。

特別講演:

○「災害現場や建設現場に活用されるロボット技術と今後の展望」13:30~14:30
東京大学大学院工学系研究学科 特任教授 永谷 圭司 氏

○「令和元年台風19号豪雨災害から学ぶ河川災害の特徴と課題」15:00~16:00
群馬大学大学院理工学府 教授 清水 義彦 氏

一般の方は、令和2年12月2日(水)の11:00から入館可能となります。

【リニューアル後の開館日等】

展示期間: 令和2年12月2日(水)~令和4年11月30日(水)

開館日: 平日(火~金)の週4日開館(祝祭日及び年末年始は除く)

開館時間: 10:00~16:00

※建設技術展示館については、関東技術事務所または建設技術展示館のホームページをご覧ください。

関東技術事務所HP: https://www.ktr.mlit.go.jp/kangi/kangi_index005.html

建設技術展示館HP: <http://www.kense-te.jp/>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会 千葉県政記者クラブ 松戸記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

きくち たかし

○企画部 施工企画課 建設専門官 菊地 隆 TEL:048-600-1347(内線:3456)

くにかみ まさのぶ

○関東技術事務所 副所長 国頭 正信 TEL:047-389-5121(代表)(内線:205)、技術情報管理官 渡部 修(内線:303)

わたべ おさむ



第15期 建設技術展示館 リニューアルオープン

12月2日(水)

入館無料!

第15期の展示のテーマは

「Society5.0を実現する新技術」

「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

2つのテーマを主体に、国、自治体、関係団体の取り組みを展示します。

リニューアルオープン式典 10:00～

建設技術展公開 11:00～

(公開は16:30まで)

※通常の開館は16:00までです

特別講演

(定員は50名 申込み先着順)

13:30～14:30 「災害現場や建設現場に活用されるロボット技術と今後の展望」

東京大学大学院工学系研究科 特任教授 永谷圭司 氏

【プロフィール】1990年 筑波大知能ロボット研究室に所属して以降、一貫してロボット研究に従事している。特に、2011年 東日本大震災以降、災害対応ロボットや無人建設機械を中心としたフィールドロボットに関する研究開発に従事。モットーは「役に立つロボット」。2012年 不整地移動探索ロボットに関する研究で競基弘(きそいもとひろ)賞学術業績賞。2018年 火山調査ロボットの研究開発で第8回ロボット大賞国土交通大臣賞を受賞。2019年 東京大学のi-Constructionシステム学寄付講座の特任教授。国土交通省ICT導入協議会建設施工におけるパワーアシストスーツ導入に関するWG委員、日本ロボット学会学会誌担当理事などを歴任。



15:00～16:00 「令和元年台風19号豪雨災害から学ぶ河川災害の特徴と課題」

群馬大学大学院理工学府 教授 清水義彦 氏

【プロフィール】1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士修了。京都大学・愛媛大学を経て、1991年群馬大学に着任。現在、群馬大学大学院理工学府教授。専門は河川工学。洪水による河川地形形成のメカニズム解明と河川植生の動態予測などを研究テーマとした利根川水系フィールドから河川管理に関する検討を国土交通省と共同で行っている。土木学会水工学委員会委員長、社会資本整備審議会専門委員、群馬県河川計画審査会会長などを歴任。



「土木学会CPDプログラム」、「全国土木施工管理技士会連合会CPDSプログラム」認定予定

主催：国土交通省関東地方整備局

賛助：(一社) 関東地域づくり協会

お問い合わせ：建設技術展示館事務局 関東地方整備局 関東技術事務所技術課内

<http://www.kense-te.jp/>

TEL 047-394-6471

E-mail: kense-te@sweet.ocn.ne.jp

新型コロナウイルス感染症への対応について

特別講演を聴講される方へのお願いと注意

1. 来場前の健康等確認のお願い

下記に該当する場合は、来場を見合わせて下さい。

- ①37.5℃以上の発熱あるいは平熱と比べて1℃以上高い場合
- ②咳、咽頭痛等の症状がある場合
- ③過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴がある場合
- ④上記③のような者との濃厚接触がある場合
- ⑤過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された者との濃厚接触がある場合
- ⑥過去 2 週間以内に同居している者に感染が疑われた場合
- ⑦高齢者や基礎疾患がある方で、人混みが危険と判断される場合

2. 当日の体調確認と体調不良時のお願い

- (1)当日の朝、発熱等体調がすぐれない場合は、受講をお控え下さい。
- (2)受講中に咳を繰り返すなどの体調不良が見られた場合には、受講中止のお願いをさせていただきます。
- (3)当日、講習会場の入口において、すべての受講者について非接触型体温計による検温を実施します。
- (4)発熱等が認められた場合には受講をお断りしますが、感染拡大防止のために必要な措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。

3. 入退場時の混雑を避けるためのお願い

入場時(受付時)に行列ができる場合には、離隔距離をとって整列の上、入場(受付)をお願いします。また、退場時は係員の指示に従い、順次の退場にご協力をお願いします。

4. 会場内での講習前後、休憩時における注意事項

- (1)着席時および着席時以外においても、受講者同士の離隔距離を保って下さい。
- (2)講習前後、休憩時における、対面での会話や飲食等、受講者同士の接触を控えて下さい。
- (3)トイレが混雑した場合、最低 1m(できるだけ 2m を目安に)の間隔をあけて整列して下さい。
- (4)持ち込まれたペットボトル飲料などは、必ずご自身でお持ち帰りください。
- (5)講義終了後の講師へのご質問はお避け下さい。
- (6)ご質問などがある場合は、後日、事務局までお問い合わせください。
- (7)感染予防のため、講習会場では、マスク着用および手洗い・手指の消毒をお願いします。
- (8)講習会場は、換気のため、適宜窓やドアなどを開けますので、室温の高低に対応できるよう服装には注意して下さい。

5. その他

感染症防止対策の徹底に関し、本留意事項に記載した事項を守っていただけない場合や、当日講習会場での係員の指示に従わない場合等には、受講をお断りすることがあります。

感染防止の必要に応じて、氏名、勤務先等が保健所等の公的機関へ提供され得ることをあらかじめご了承下さい。

厚生労働省がリリースしている、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的とした[接触確認アプリ\(COCCA\)](#)のスマートフォンへのインストールをお願いします。



建設技術展示館事務局 行

建設技術展示館ホームページの[申込先メールアドレス](#)をクリックし、メールに申込書を添付して送信して下さい。

この方法でメール送信すると、「受付」メールが自動返信されます。(※メールの送信件名を変更すると、「受付」メールが自動返信されませんので、送信件名を変更しないで下さい。)

聴 講 申 込 書

建設技術展示館リニューアルオープン(第15期)特別講演

日時: 令和2年12月2日(水) 13:00~

場所: 関東技術事務所

ふりがな 勤務先			
勤務先所在地			
連絡ご担当者	ふりがな 《氏名》		
	《所属》		
	《メールアドレス》		
	《TEL》	《FAX》	

連絡担当で聴講希望の方は恐れ入りますが、聴講者氏名にもご記入下さい。ご担当者名を記入しない場合は出欠のご連絡が出来ない場合がございます。必ず連絡先・メールを記入して下さい。

聴講者氏名	所属	役職	CPDS受講証明書希望

CPDS受講証明書発行を希望の方は、「希望」とご記入下さい。

※)この用紙を11月25日(木)までに、メールにてお送り願います。

※)定員は、50名で先着順となります。定員に達した時点で締め切らせていただきます。

※)申し込みいただきました個人情報につきましては、聴講人数の把握や人数によってはお断りさせて頂く場合の連絡先及び新型コロナウイルス感染症対応のためにご記入をお願いするものであり、法令などにより開示を求められた場合を除き、個人情報をご本人の同意を得ることなく建設技術展示館以外の第三者に開示することはありません。なお、発表会開催後、CPDS受講証明書を発行した聴講者につきましては、(一社)全国土木施工管理技士会連合会からの依頼により、名簿を同連合会へ提出します。

※)全国土木施工管理技士会連合会CPDS受講証明書発行を希望の方は、該当欄にご記入下さい。なお、土木学会CPD登録のための受講証明書が必要な聴講者は、主催者の証明印を押しますので、所定の様式に必要事項を記載のうえご持参願います。

※)このエクセルファイルをメールに添付して送信して下さい。(PDF形式などのファイル形式の変更は行わないで下さい。)

【建設技術展示館HP】

URL: <http://www.kense-te.jp/>

交通のご案内



- ①東京駅 ———— JR京葉線快速(武蔵野線直通) ———— 新八柱駅下車
 JR山手線／京浜東北線
- ②東京駅 ———— 上野駅 ———— JR常磐線 ———— 松戸駅 ———— 新京成線 ———— 八柱駅下車
 バス「牧の原団地行」(乗車約8分)建設技術展示館下車 → 徒歩2分(バス運行間隔 約10分)
 新京成線 常盤平駅下車 → バス「牧の原団地行」建設技術展示館下車(所要時間 約10分)

※当日は、駐車場に限りがあるため、公共交通機関をご利用下さい。

■第15期 建設技術展示館 展示技術一覧

■Society5.0を実現する新技術

【展示期間：(通期)令和2年12月2日～令和4年11月30日】

a. i-Construction技術（イ. センサー情報(IoT)を活用した技術）		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社安藤・間	4K定点カメラ映像による工事進捗管理システム
2	NTTアドバンステクノロジー株式会社	小口径管推進工法に適した高精度掘削システム
3	鹿島建設株式会社	生産性向上に向けた鹿島の最新技術
4	株式会社Jシステム	監視カメラによる現場管理システム ActivNet
5	清水建設株式会社	次世代型トンネル構築システム「シミズ・スマート・トンネル」
6	大成建設株式会社	大成建設のi-Construction
7	太平洋セメント株式会社	RFID構造物診断技術「Wimo」
8	株式会社トプコンソキアボジショニングジャパン	i-ConstructionにおけるIoT技術の活用
9	西松建設株式会社	インフラ監視クラウドシステムOKIPPA(オキッパ)
10	株式会社フジクラ	最新情報通信用ケーブル
a. i-Construction技術（ロ. ドローンや衛星などの三次元測量データ）		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	AIを用いた石礫の自動判読技術
2	株式会社ジェノバ	高密度ネットワーク型RTK-GNSS配信サービス
3	株式会社日本インシーク	RID ～Rord Infrastructure Database～
4	前田建設工業株式会社	点群データの活用 ―現場への浸透―
5	ライト工業株式会社	ICT法面技術
a. i-Construction技術（ハ. ICT施工技術）		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社アクティオ	超高速凝集沈殿装置
2	オープンシールド協会	オープンシールド工法
3	CDM研究会	CDM工法
4	大日本土木株式会社	現場ですぐに使える生産性向上ICT新技術
5	西尾レントオール株式会社	ICT重機を利用し省人化・省力化を推進するシステム
6	日特建設株式会社	ラクデシヨット
7	株式会社NIPPO	N-PNext ver.2
8	日本キャタピラー合同会社	遠隔操作キットCatCommand
9	一般社団法人日本建設機械施工協会	i-Construction(ICT施工)の推進
10	一般社団法人日本測量機器工業会	Society5.0を実現するための新技術
11	前田道路株式会社	かんたんマシンガイダンス
12	株式会社ワイビーエム	Y-Navi(杭芯位置誘導システム)
a. i-Construction技術（ニ. BIM/CIMなど三次元設計技術）		
番号	団 体 名	展 示 名
1	酒井重工業株式会社	Society5.0を実現するSAKAIの技術
2	福井コンピュータ株式会社	i-Constructionの普段使いを支援する3次元/ICT技術

a. i-Construction技術（ホ. AR/VRなどサイバー空間(仮想空間)を活用した技術）		
番号	団 体 名	展 示 名
1	五洋建設株式会社	AR安全可視化システム
b. ロボットによる技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社竹中土木	竹中土木のICT技術
c. ビッグデータ等を活用した人工知能(AI)による技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社奥村組	革新的なAI技術が建設の未来を変える！
2	西日本高速道路エンジニアリング四国株式会社	道路を支える調査点検・維持作業技術

■防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術

【展示期間：(通期)令和2年12月2日～令和4年11月30日】

a. 防災・減災対策技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	ifm efector株式会社	建機特車用リフレクター検知システム
2	株式会社安藤・間	豪雨・地震の複合災害に備えた盛土強靱化技術
3	エレテクス株式会社	LPガスエンジン式フルパッケージ型全自動発動発電装置
4	株式会社技研製作所	インプラント工法による国土強靱化
5	ケイコン株式会社	上部フレア護岸ブロック
6	株式会社建設技術研究所	水災害リスクマッピングシステム・防災公園併設複合施設・防災教育動画
7	建設無人化施工協会・建設無線協会	災害復旧時における無人化施工技術
8	一般社団法人セメント協会	土を固めるセメント系固化材
9	大昌建設株式会社	ロッククライミングマシーン(RCM)・アンカーロックマシーン(ARM)を使用する高所法面施工
10	ダイドレ株式会社	ステンレス製透水化粧ふた Tosk Remake Cover
11	大日本土木株式会社	土構造物の耐震補強技術
12	東洋建設株式会社	地震・津波リスクの見える化技術
13	株式会社ヒロコーポレーション	ヒロ結合工法
14	古河産機システムズ株式会社	密閉式吊下げ型コンベヤ
15	木材活用地盤対策研究会	地中に森をつくろう！！
16	ユニベックス株式会社	防災用ソノコラムスピーカー
b. 補修・メンテナンスの新技术		
番号	団 体 名	展 示 名
1	アイエスティー株式会社	プロコンシート®《ポリプロピレン製の不織布等を熱加工した透水性の積層シート》
2	一般社団法人IPH工法協会	IPH工法(内圧充填接合補強)
3	泉左官住設株式会社	WATER SHIELD(コンクリートの吸水防止材)
4	一般社団法人 SCFR工法協会	FRPシートによる補修&補強工法
5	NTTアドバンステクノロジー株式会社	超撥水材料HIREC
6	オート化学工業株式会社	オートン超耐シーラーTF2000
7	株式会社大林組	高速道路の床版をスマートに更新
8	金森藤平商事株式会社	NUKOTE(ニューコート)ポリウレアライニングシステム

9	小泉製麻株式会社	NEAc工法+ウレタン注入材
10	一般社団法人コンクリートメンテナンス協会	亜硝酸リチウムを用いたコンクリート補修技術
11	大成建設グループ 大成ロテック株式会社 成和リニューア ルワークス株式会社	インフラ長寿命化・メンテナンス技術
12	東京舗装工業株式会社	半たわみ性舗装用高強度型超速硬プレミックス材『ダイヤツイン高強度』
13	一般社団法人日本建設保全協会	道路橋の長寿命化対策工法
14	日本道路株式会社	アスファルト舗装の長寿命化工法
15	日本バンデックス株式会社	バンデックスフレキシシ止水工法
16	三菱電機株式会社	三菱電機点検サポートサービス InsBuddy
17	ヤマダインフラテクノス株式会社	エコクリーンハイブリッド工法

c. 状態把握のモニタリング技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	東京理化学検査株式会社	COLOPATスキャン

■防災・減災、国土強靱化、長寿命化技術

【展示期間：(前期)令和2年12月2日から令和3年11月30日】

a. 防災・減災対策技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	青木あすなろ建設株式会社	ダイス・ロッド式摩擦ダンパー
2	株式会社ガイアート	延長床版システムプレキャスト工法
3	一般社団法人河川ポンプ施設技術協会	河川用揚排水ポンプ
4	ゴトウコンクリート株式会社	【街・人の「安心」「安全」「安眠」を叶えます】
5	坂田電機株式会社	地盤災害・土砂災害の監視システムのご紹介
6	株式会社ノースプラン	気流コントロール型防風防雪柵

b. 補修・メンテナンスの新技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	インフラテック株式会社	LSフォーム LSスラブ
2	共和ハーモテック株式会社	省力化かご工法【吊り式ハイパーマット】
3	蔵王産業株式会社	小型搭乗式スーパー「アルマジロAM9DⅢ-LH」
4	JFEシビル株式会社	災害に強い道路橋と新補強工法
5	W2R工法協会 関東支部	W2R工法(ダブルツアーール)
6	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社	コンクリート構造物の診断技術

c. 状態把握のモニタリング技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	コニカミノルタ株式会社	鋼材破断非破壊検査 SenrigaN

■防災・減災、国土強靱化、長寿命化技術

【展示期間：(後期)令和3年12月1日から令和4年11月30日】

a. 防災・減災対策技術		
番号	団 体 名	展 示 名
1	株式会社Eーパートナーズ	EL電光表示板
2	株式会社エスイー	エスイーの防災・減災対策技術
3	電光工業株式会社	特殊コンドルファ始動器「Vスター」
4	パワーブレンダー工法協会	パワーブレンダー工法

5	株式会社ヒロコーポレーション	1.乾式メタルセラミックパネル
6	北陽建設株式会社	山岳地域の防災・減災

b. 補修・メンテナンスの新技术

番号	団 体 名	展 示 名
1	アトムクス株式会社	ライフテックス水性はく落対策工法
2	NTTアドバンステクノロジー株式会社	粉体塗料SAPOEや結露防止シートG-プレスによる設備の腐食対策
3	大林道路株式会社	ミチテラ(路面点滅誘導灯)
4	岡三リビック株式会社	診断対応型 多数アンカー式補強土壁工法
5	コンボルト・ジャパン株式会社	コンボルト型屋外貯蔵タンクシステム
6	昭和瀝青工業株式会社	舗装の予防保全技術「ハイブローン工法」
7	株式会社ナカボーテック	コンクリート中鋼材の腐食防止技術の紹介

■ 関係機関・自治体・大学

【展示期間：(通期)令和2年12月2日から令和4年11月30日】

番号	団 体 名	展 示 名
1	千葉県	建設現場の生産性向上と担い手確保の取組
2	松戸市	松戸市における下水道地震対策
3	日本大学理工学部交通システム工学科	計測技術で「交通」を支える教育と研究
4	国立研究開発法人 土木研究所	Society5.0等 土木研究所の開発技術
5	国土交通省 国土技術政策総合研究所	ー社会の「これから」をつくる研究所ー
6	国土交通省 国土地理院	豪雨・洪水災害に対する取り組み
7	国土交通省 関東地方整備局	関東地方整備局の取組